



① 科目名	政治学概論
② 科目名(英訳)	Introduction to Political Science
③ 科目ナンバー	HW137B01
④ 詳細情報	授業外学修時間:週4時間
⑤ 担当者 (非)は非常勤講師	福島 崇宏(非)
⑥ 単位数	2
⑦ 開講学年	2年
⑧ 開講セメスター	春期毎週
⑨ 対象学科 選択・必修	必修: 選択:HW
⑩ 他学科受講	
⑪ 履修順序・履修情報	類似科目情報あり
⑫ 担当者及び時間割	【春学期】 福島 崇宏(非):金7-8
⑬ カリキュラムの中での位置付け ／DP(ディプロマ・ポリシー)	本科目は「関連科目」に区分される。 【ディプロマ・ポリシー(DP)】2024年度入学生以降対象 ①:◎ ③:○
⑭ 身につく基礎力／身につく汎用力	課題設定力 クリティカル思考力／豊かな教養 学び続ける能力 協調性・協働性(公益心)

① 授業の主旨 (概要)	本科目は社会で必要とされる知識・技能の修得を目的とする。今日の日本社会では、政治は日常生活とは無関係だと考えている人がたくさんいるようである。しかしながら政治は、私たちが品物を買うときに支払う消費税を始め、私たちの生活と密接に結びついている。本講義では消費税を始めとする税制や選挙制度、集団的自衛権の行使、医療保険制度、地球環境問題など、国内外の身近な政治問題を理解しつつ、一連の政治を動かしている権力構造に焦点を当てて講義を展開する。	
② 具体的 達成目標	授業の主旨に基づき、以下を達成目標として位置付ける。 1. 現代政治史の概要が説明できる。 2. 国内政治で問題になっている課題(選挙制度、集団的自衛権の行使、医療保険制度など)の概要を説明できる。 3. 国内政治の諸課題が現在の国際政治とどのように結びついているか説明できる。	
③	1	【内容】 第1回 政治学を学ぶに当たって — オリエンテーション
	【授業外学習】	前:教科書「23 国会と立法権」を読み、国会や国会議員はどのような活動をしているのか整理する。 後:私たちが支払う税の種類や税額がどのような観点を重視しながら決定されるのか整理する。
	2	【内容】 第2回 政治とは何か 1) 権力と自由
	【授業外学習】	前:教科書「9 個人の自由と責任」を読み、権力と自由の関係について、著名な思想家の著作を通じて考える。 後:政治が機能しないと私たちの日常生活にどのような不具合が生じるのか整理する。
	3	【内容】 第3回 政治とは何か 2) 国家・集団・個人
	【授業外学習】	前:教科書「16 日本国憲法の制定と基本原理」を読み、象徴天皇制および憲法改正の議論について整理する。 後:国会、内閣および裁判所が私たちの日常生活に与える影響について授業配布物を基にまとめる。
	4	【内容】 第4回 日本政治の特徴 1) 民主主義体制の確立
	【授業外学習】	前:教科書「17 日本国憲法の人権保障—平等権—」を読み、日本国憲法の人権保障体制について理解する。 後:表現の自由に関する現状と課題について、教科書「18 日本国憲法の人権保障—自由権—」を基にまとめる。
	5	【内容】 第5回 日本政治の特徴 2) 福祉国家の諸問題
	【授業外学習】	前:教科書「19 日本国憲法の人権保障—社会権—」を読み、基本的人権や生存権など社会権の概要について理解する。

● 授業計画	後:日本政府の掲げる働き方改革の特徴と課題について整理する。	
	【内容】	第6回 日本政治の現状と課題 1) 政治参加と選挙
	【授業外学習】	前:教科書「26 選挙と政党政治」を読み、選挙制度の概要を理解する。 後:選挙の投票率が若者を中心に低迷している要因について整理する。
	【内容】	第7回 日本政治の現状と課題 2) 日米同盟の変遷と課題
	【授業外学習】	前:教科書「22 國際平和と日本の安全保障」を読み、日米安保体制の現状について理解する。 後:米軍基地問題が生じている地域の現状と課題について、教科書の該当部分や配布物を基に整理する。
	【内容】	第8回 日本政治の現状と課題 3) 米軍基地問題とマス・メディア
	【授業外学習】	前:教科書「27 地方自治とその課題」を読み、地方自治の現状と世論形成の原理について理解する。 後:沖縄の新聞社が米軍基地問題をどのように報じているのか、その特徴を調べて整理する。
	【内容】	第9回 日本政治の現状と課題 4) 外交交渉(領土問題)
	【授業外学習】	前:教科書「35 世界における日本の役割と課題」を読み、領土問題について理解する。 後:北方領土問題の歴史的変遷を授業配布物を基に整理する。
	【内容】	第10回 國際政治を動かすアクター
	【授業外学習】	前:教科書「13 情報通信(ICT)と現代社会の課題」を読み、情報通信の発達が国際社会にもたらす影響について理解する。 後:国際社会を動かすアクターにはどのようなものがあるのかについて整理する。
	【内容】	第11回 國際政治の現状と課題 1) 核兵器
	【授業外学習】	前:教科書「32 核兵器と軍縮の問題」を読み、核兵器と原発に関する問題の概要をつかむ。 後:授業中に配布した白地図を使って核兵器問題の特徴と課題をまとめる。
	【内容】	第12回 國際政治の現状と課題 2) 新しい戦争 — テロ
	【授業外学習】	前:教科書「33 現代の紛争」を読み、国際テロ事件や国際紛争の概要について理解する。 後:アメリカ同時多発テロ事件後のイスラム教に関する問題について整理する。
	【内容】	第13回 國際政治の現状と課題 3) 国際経済
	【授業外学習】	前:教科書「47 国際経済体制と為替相場」を読み、国際経済の概要について理解する。 後:アメリカと中国が国際経済の主導権をとるために繰り広げている諸問題について新聞記事を基に整理する。
	【内容】	第14回 國際政治の現状と課題 4) 環境問題
	【授業外学習】	前:教科書「12 環境や資源に関する現代社会の課題」を読み、環境問題の概要をつかむ。 後:マイクロプラスチックを巡る現状と課題を新聞記事を基に整理する。
	【内容】	第15回 國際政治の現状と課題 5) 国際機構
	【授業外学習】	前:教科書「29 國際連合の仕組みと活動」を読み、国際連合の活動内容について理解する。 後:国際連合が人権や開発などに対し果たす役割について整理する。

● 授業方法	講義形式で行う。適宜討論も交えながら行う。 授業内で課す小レポートについては、次回講義時に講評及び解説を行う。				
● 成績の評価方法	授業参加度(主に授業の最後に実施する小レポート)、授業内で適宜実施する確認テスト及び期末レポートにより評価する。				
● 成績の評価基準	授業内で実施する小レポート(30点満点)、確認テスト(40点満点)及び期末レポート(30点満点)の計100点満点で評価する。60点以上で合格とする。				
● 教科書	No	書籍名	著者名	出版社	価格
	1.	『公共ライブラリー 2024-25』	公共ライブラリー 編集委員会	清水書院	1,350円+税
					978-4-389-21919-2

No	書籍名	著者名	出版社	価格	ISBN/ISSN
1.	『政治学入門—歴史と思想から学ぶ』	犬塚元、河野有理、森川輝一	有斐閣	2,300円+税	978-4-641-15108-6
2.	『日本外交の論点[新版]』	佐藤史郎、川名晋史、上野友也、齊藤孝祐、山口航編	法律文化社	2,400円+税	978-4-589-04333-7

参考文献	3. 『政治学の第一歩 新版』	砂原庸介、稗田健志、多湖淳	有斐閣	1,900円+税	978-4-641-15025-6
	4. 『国際関係論』	多湖淳	勁草書房	2,400円+税	978-4-326-30339-7
	5. 『国際政治学をつかむ[第3版]』	村田晃嗣、君塚直隆、石川卓、栗栖薰子、秋山信将	有斐閣	2,200円+税	978-4-641-17731-4
備考	参考文献についてはテーマ毎に適宜紹介する。必要に応じてレジュメ・資料を配付する。				
関連ホームページ					
メールアドレス	福島 崇宏 swv8318@fsc.chubu.ac.jp				
オフィスアワー					